

建設産業委員会

審査の結果、議案5件について全て可決し、陳情1件を採択、1件は継続審査としました。

◆ 勝山市下水道事業特別会計補正予算 (第2号)

・勝山市公共下水道事業計画変更(雨水)にかかる計画設計業務委託について

これまでの雨水計画箇所には入っていないかった昭和町2丁目地係を新たに区域を追加し、計画策定を行いたいとの説明がありました。

これに対し委員からは、当初の雨水計画のエリア外だった事に疑問があるとしつつ、昨今、頻りに浸水の発生が起こっていることを踏まえ理解するとの意見があり、採決の結果、原案が可決されました。

◆ 勝山市都市計画審議会条例の一部改正について

勝山市都市計画審議会の委員定数を見直し、減員する改正について委員からは、他市の状況や人口割りにより効率化を図ることを主たる目的とせず、今後も、勝山市都市計画の理念や合理性、地域性を維持し進めていくように、との意見が出されました。

採決の結果、原案が可決されました。

予算委員会

◆ 公共施設の集約化「ファシリテイ マネジメント(FM)」について

公共施設の集約化の中で行政事務の効率化も図るために建設課・宮繕課・上下水道課を市民会館から市役所に移設します。3月議会を経て、市では教育会館と市民会館に係る50団体に對し丁寧に関わりを行った結果、市の計画に賛成意見が多くありました。子育ての観点からは保育士からも意見聴取を行いました。団体等にはそれぞれ市の計画を伝え、自由に意見を伺ったとことです。

委員 FM計画の中で市民会館の空いたスペースは貸館利用するというが、行政事務効率化としてだけでなく、すこやかと教育会館と市民会館が関係するFM計画の議論も含めて進める必要がある。市の計画を伝える際は、1つの計画内容だけでなく様々な視点を持てるよう複数の案を提示し、議論の余地を残した聞き取りをするべきだ。市民会館に3つの部署が移動した時は手狭だと言っていたが、改善されたのか。

理事者 FMと子ども会館、行政事務の効率化は別で考え、移ることだけ議論して欲しい。来年度からデスクトップPCがノートPCになる。図面の作成も書ききからCADになっており、省スペース化が可能になった。教育会館は子ども会館と完全に決まった訳ではない。

委員 今回3つの課を市役所に持っていくのはわかるが、FMには関係している。すこやかを遠くに建設した経緯を見てもFMについてはしっかりと議論していくべきである。

◆ 結婚新生活支援に係る補助事業の実施について

夫婦ともに39歳以下で、世帯所得が500万円未満、申請時から3年以上継続して本市に定住する旨の誓約をしていることなどを条件に支援制度が始まります。

① 新生活支援事業補助金

結婚し新生活をする夫婦の住宅取得・家賃・リフォーム・引越越し費用が支援されます。

夫婦ともに30歳から39歳以下の場合：30万円
夫婦ともに29歳以下の場合：60万円

② U29結婚新生活支援金

市内で結婚し新生活をスタートする夫婦の経済的負担を軽減する(使途制限なし)ため次のとおり支援されます。

夫婦の一方が29歳以下の場合：30万円

夫婦の一方が25歳以下の場合：10万円加算

委員 3年以内に転出した場合どうなるか。

理事者 返還してもらうことになる。

委員 再婚の場合は、対象になるのか。

理事者 対象になる。(補助実績がない場合)

◆ 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

勝山市では、平日は各学校にて部活動を実施し、週休日(主に土曜日)の半日は、地域移行の受入れ環境が整った男女バドミントン、男子バレーボール、陸上の3競技団体4種目を委託しています。

委員 他の競技団体も追加することは可能か。

理事者 可能であることから、現在、他の競技については各団体に接触中である。

委員 文化クラブは可能か。

理事者 可能ではあるが、勝山市内に指導を